

黃庭內景 心神功入門

著者 梁 蔭全

場所：梁 蔭全氣功事務所（新中野）

東京都中野区本町 6-16-11 A.S ビル新中野 6 階

TEL ; 03-3229-3136 FAX ; 03-6382-7778

E-Mail ; ryankikouj@gmail.com

HP : www.ryankikou.com

梁蔭全先生の黄庭内景心神功入門

一、西洋の「魂」と中国の「魂」の違い

今日の集中トレーニングは特別なトレーニングコースである。

内容は前の《古禪医道心領神会带功引導》の続きもの。

昨日、母の日でした、

ある方が胡適の子供への手紙を

母親の口調で書き直された：

「私はあなたを育て、それは優しさではありません、

血液によって決定される生物学的本能のみ。

したがって、私はあなたに好意がないので、あなたは私に返済する必要はありません。

代わりに、私はあなたに感謝したい、

あなたの参加のおかげで、

私の人生はもっと完全である。

私はたまたまあなたのお母さんでした、

あなたはたまたま私の娘でした、

私はあなたの前編ではないが、

あなたは私の続編ではありません…

あなたは独立した個人で、私とは違う魂である。

あなたは私のせいで来ない、

あなたは人生への憧れのためにここにいる。

あなたは自由だ、愛している；

しかし、私は決して愛の名で、

あなたの人生をコントロールしません。

皆さんは胡適が有名な学者であることを知っていて、

彼は中国の伝統文化を精通していたが、

しかし、彼は多くの伝統的なものは、

中国の進歩の障害になると言った。

胡適は中国の道教の経典を読んだ後、

有名なことわざがあり：

“すべての経典は、ナンセンスだ。”

この言葉はみんなの自尊心を傷つけると思うが、

彼と魯迅と陳独秀は同じ時代の新しい若者で、

当時の清朝末年の封建思想を転覆する為に、

こういうのも理解できる。

彼は子供への手紙の中で2つの問題について話した。

最初に、彼は手紙の中で言った：

“私たちは子供の前編ではない、

子供も私たちの続編ではありません。”

それは子供が私たちの延続部分ではないと言う意味がある。

出産は生物学の習慣にすぎません、

ですから、子供たちへの恩情はない。

第二に、彼は私たち全員が「独立した魂」を持つ人々であると話した、

親と子の魂は独立している。

私はこの話に同意する。

私は胡適から子供へのこの手紙を使い、

一つのトピックを導く：魂は何ですか？

とくに私たちが練習するとき、魂は何ですか？

ある意味で、

魂は一種の西洋哲学、西洋精神医学、そして心理学から伝えて来たもの。

しかし、誰もが言った：いいえ、中国ではずっと前から三魂七魄を研究してきた。

た。

古代人は“万物は皆霊がある”と思って、

霊についてよく研究している人もいた。

しかし、古代中国では、「霊」と「魂」を分けての研究で、

霊魂の研究することではないのだ。

仏教経典と100年前の仏教経典を含み、

釈迦牟尼仏の涅槃後、

彼の弟子達が彼の発言を経典に記載した。

しかし、《大蔵経》にしても、仏教のすべての宗派の研究にしても、

霊魂について

仏教でさえ「魂」の問題をうまく解決しませんでした。

後で唐三蔵により仏教が体系的に設立された後、

その時だけ、仏教は魂について具体的な方法でさらに説明したが、

まだよく解明しませんでした。

私はいろいろな経典を読んだ、

道教以外、精神と魂についてこれ以上の詳細な説明はありません、

誰もがまだコンセプトだけ。

通常「魂」と呼ばれ、

それは、思考、意識、そして人間の起源における一般的な概念の名前にすぎない。

道教の魂は2つの概念であり、

精神と魂である。

即ち、さまざまな精神とさまざまな魂があった。

二、心の3つのカテゴリー

今日はどうして魂のことを話すか？

いま私たちが最も重要な内臓「ハート」を練習したいだから。

誰もがハートが心臓を訓練するだけではないか？と思うが、

実際には心臓を練習するだけでなく、

心臓は私たちの心の一部であり、すべてではありません。

中医学には心について2つの説がある。

1つは、

「春に肝臓を養う」「夏に心臓を養う」の「心」、

つまり、心臓を養うこと。

では、どうやってこの心臓を養うの？

実際に心臓を養うだけではありません。

第二に、無形な“心”のことだ。

中国に昔から世間について、

この人は良い心を持っていて、あの人は心地が悪いと言う風評があった。

いまは誰もが年次総会でよくこう言う：

あなたの本来の初心を忘れないでください、

それでは、この心は何ですか？
誰もがそれを人の心の願いとして一般的に理解している。
これは無形な心と言うことだ。

今日お話しする心、
私たちの有形無形の心が含まれていて、
そして、有形と無形の間的心もお話します。
実際には私たちの心には3つの部分が含まれている。

まず、有形の心について話しましょう。
有形の心は私たちの心臓を含め、
そして私たちの脳、小脳、末梢神経伝導、交感神経細胞、
これらは、有形の解剖学的心臓である。

では、有形と無形の間的心はどこにあるのでしょうか。
最初は具体的な心で、
2つ目は、有形と無形の間的心だ。
つまり、この心は十分に根拠があり、
見つけやすく、神秘的ではないということは、
私たちの人生の経験でしょう。
さらにそれだけではなく、人類の共通の経験と証言もある。
それは私たちの意識に影響することができる、
そして物理的、化学的、自然のおよび生物学的変化によって引き起こされる
私たちのいわゆる潜在意識、深い意識・・・
以上すべて目に見えないものと目に見えるものとの間的心だ。
この心は私たちに大きな影響を与えている。

過去に起こったことすべて、もう存在しないかもしれませんが、
目に見えない無形なものになり、
いくつかの骨董品とは異なり、
あなたは骨董品で遊ぶことができ、
壊れた銅と鉄が惜しくて、長く持っている人もいるが、
無形な心はそれと違い、以前に起きたことが、
私たちが第二の心と呼ぶものに存在した。

現在ではないが、将来発生する可能性があり、
あるいは、事前に予想でき、
それは間違いなく将来起こる事も第二の心の形成に影響するでしょう。
例えば、今講義が終わったら、この教室から出なければならない、
あなたは一生この教室にいることはできません、
これは起こらなければならないことだ。
したがって、あらゆる種類の知性と情報の影響で、
私たちの第二の「ハート」を形成し、
また、私たちの性格や他の側面も形成されるでしょう。

第三の部分は目に見えない心である。

見えない心とは？

個人として、私たちは、小さくても、
私たちは地球上の 70 億人以上の人々の一部だ。
少し大きく言えば、
私たちは昔から地球に住んでいた 2100 億人の一部だ。
次に、もう少し大きく言えば、私たちは地球の子供で、
地球は太陽の子である。

しかし、新しい理論があり：

5 億年前、地球は太陽に「捕らえられ」、
地球は太陽から生まれたのではなく、地球は放浪者だ。
これは天文学の新しい科学用語。

ある意味で、私たちの地球は太陽の子であり、
太陽系は銀河の子であり、
天の川は時間と空間の子である。
そうすれば、私たちの心はまとまりのある目に見えない心であり、
人心は、天心、つまり宇宙の心につながっている。
だから「般若心経」を読んだら、
その中で心についての話は何を意味するでしょう。
大きなハート、小さなハート、
またはフラットハート、立体ハートも含まれるでしょう。

この心には私たちの遠い昔からの潜在意識や、
深い集合意識にも、遺伝子や遺伝因子も含まれている。

私たちはこの心についてたくさん話した、
どうして？

次の練習のためだ。

今日のテーマは心の修練である。

中医学には心臓に栄養を与えると主張し、
また肺臓は魄を隠すとも言われ、つまり、三魂七魄の魄であること。
肝臓には三魂を隠し、ですから精神は心に隠されている。

中医学の「心は精神を隠す」について、

私たちがどう説明するか？

私たちにはそれを心神と呼び、

この神は《心経》中の空で、

神空と空神はどちらも一種の主宰である。

中医学では、心神が主宰であり、

他の意識もある。

しかし、私たちは今日主に修練に適する心神について話す。

心について、中医学ではもっと心臓を指し、

これは実際の治療の必要性に関連しており、

この心臓が内臓をコントロールしていて、

「王様」であり、内臓は首相や大臣である。

こう言うのは中医学の認識だ。

3、心神功のコトバンク

先に、精神と魂と言う心神を簡単に説明したが、

今から私たちは正式に心神功の練習を始めましょう。

私たちは話しながら練習する。

今立っている人は立っているままで良い、座っている人は座って、瞑想も OK、

途中で座ったり、立ったりも変わらず、

ただ、「心神が家を守ることができる」限り、

あなたはなんの姿勢でも問題ではありません。

どうすればこの心を修練することができるか？

まず、頭のとっぺん、頭蓋骨、骨盤、

私たちの腎臓、いわゆる丹田、海底輪、任脈督脈の会陰など、

即ち、頭、腰、地球の核三つの部分は直線になり、

舌の先を上顎の位置につけて、手の姿勢はランダムで、

立っている方は基本姿勢で良いでしょう。

最初のステップは心神をリラックスさせること、

心神の内側からリラックスすること。

太陽系には太陽が1つしかない、天の川には5000億の太陽があり、

これらの5000億の太陽の赤い光

ボトムアップ、反時計回り、らせん状に私たちの心全体を満たし、

心の中の世界、赤い光の海のように、

赤い光の太平洋、赤い光の宇宙。

心全体で、6つの主要なポイントがあり：

真っ赤、明るく、熱く、広く、柔らかく、膨張している。

心臓に問題のある人、あるいは心臓のステント手術した方には

もっと練習する必要がある、

練習できない人はたった一種類の人、精神統合失調症の人で、

そうでなければ、誰でも心神功を練習することができる。

心全体が赤い光の海のようになり、

同時に6つのポイント：

真っ赤、明るく、熱く、

広く、柔らかく、膨張していることを意念込めてください。

中医学を勉強する人は、

こう言う疑問がありそう：

心は熱を恐れていると言いませんでしたか？

はい、確かに心が熱には弱い怖い、

しかし、ここの暑さは気持ちの暖かさで、

この暖かさはポジティブで、

それは真の本質（真元）の熱である。

真の本質（真元）とは何ですか？

本質の陽気の熱だ。

古代人は人間の心臓は光から来たものと信じていた、

この光は太陽の光の粒子から来て、

だから私たちは 5000 億の太陽の光を持っていて、

反時計回り、らせん状、ボトムアップ。

私たちは太陽の下でとても暑く感じる傾向があり、

それについて貴方は考えましたか？

この熱は太陽からの熱ではありません。

太陽と地球の間に真空があるので、真空は熱を伝導しません、

常識によれば、飛行機が高くなるほど、もっと暑いはず、

なぜどんどん寒くなってきているのですか？

実際、この熱は私たちの大気反応であるため、

大気と地面による太陽放射の吸収と反射によって引き起こされる熱、

したがって、私たちが感じる温度は太陽から直接ではありません。

太陽の光は暖かくて熱いのが、

この種の熱は体温の熱を意味するのではなく、

最も密度の高い種類、古代人はそれを「元陽の丹薬」の一種の熱で、

元は太陽の核であり、太陽にもその形と神がある。

それから私たちの 5000 億の太陽の赤い光、

その神を吸いたい。

太陽に脳と心臓があるなら、太陽の心臓の赤い光を吸収したい。

私は昔の人の修鍊秘密を非常に明確に説明した、

仙道を修鍊した古代人は、

不死への唯一の方法が人心、天心、そして宇宙の心と一体になることだ。

ここの「心」は、心神ということ。

一つの体に 3 つの心神があり、あなたは永遠に生きることができると思われた。

これは錬金術の重要なポイントでもある。

修鍊仙道の宗派が多くあるけど、

多くの人々にこういう認識をされていた。

錬金術には私たちは気にしません、
私たちは実用主義者である。
私たちは赤い光を繰り返して私たちの心神に入れ、
広く明るくなり、
明るく暖かくなりつつあり、
この暖かさは温度の熱を意味するのではなく、
もう一度説明する、
温度の熱ではありません、
心臓には温度の熱に弱くてすぐに乾くことになる。

もう一度繰り返しましょう、
5つの内臓の内部では、
腎臓は水や乾燥がないことを恐れていた、
肝臓は木に属し風を恐れていて、
一部の子供たちは泣いて無知であるが
賢明な子供たちはけいれんのように泣き出す、
これらの赤ちゃんや子供たちは肝臓に風が吹いており、
その時すぐに子供の肝臓の風を取り除き、
強力な念力で子供の肝臓の緑の木を修正した後、
効果が抜群である。
助けが必要な子供に出会ったら、
誰もがこの方法を使用してください。
私は40年以上にわたって
数え切れないほどこのような子供を治療してきた、
効果が抜群で良い方法だ
この秘密を覚えておいてください。

心は熱を恐れていて、肝臓は風を恐れていて、腎臓は乾燥を恐れていて、
脾臓は腎臓の反対側にあり、湿気を恐れて、
脾臓は濡れると不快になる。
そして肺は心臓の反対である寒さを恐れている。

そうすれば私たちの心は自然に明るくなり、

そして私たちが感じる暖かさ、
元陽の丹薬の熱で、即ち、太陽の心神だ。
これは古代人によるこういう表現である。
元は元旦の元で、陽は太陽の陽で、
元陽は太陽の丹薬であり、
太陽の心臓のエネルギーでもある。
丹は、光粒子のエネルギーから抽出されたエッセンスを指し、
分散不可能で消えないもの、
ダイヤモンドの数千倍のエネルギー構造、
現代語でこう説明しかできません。

私たちは心を練習し続けましょう。
私たちは 5000 億の太陽の赤い光
太陽の心神を私たちの人間の心神に継続的に溶け込むように侵入し、
天心と人心が一体になる。
私は今言った、
あなたが本当に不滅になるまであなたの心神を練習したいなら、
天心と人心は統合されなければなりません。
天心はどこですか？
家族なら、
それなら男は天。
普段、東洋西洋の人とも「私の神」「我的天」「My god」と言う口癖があり、
その天はどこにありますか？
私たちの上空ではなく、
天は私たちの太陽であること。

次に、2 番目のステップを練習します。私たちの心の中で無限のようになり、
赤い光の海、赤い光の太平洋、赤い光の宇宙、
宇宙の中心、
赤い宝石と赤い光で作られた巨大な宮殿がある。
この宮殿の大きさはどれくらいかな？
少なくとも 10 万平方メートル。
それから、宮殿の周りに赤い光で作られた階段があり、

少なくとも 10,000 段の階段があり、けちなことはできない。
心が大きければ、物事は少なくなり、
心が小さなら、物事は大きくなるから。
私たちの心は大きくなければなりません。
王陽明が死にかけているとき、
人々は王陽明に尋ねた：あなたは恐れていますか？
王陽明はこう言った：私の心は明るいのです。
つまり、私の心は明るく輝いている、なぜあなたは恐れているのですか？
生と死を通すことができるが、これは陽明禅もいうことだ。
王陽明の一生の学習は最後に 4 文字で濃縮した：
“我心光明”（私の心は明るいのです）。
私たちは今「私の心は明るい」で、
5000 億の太陽の赤い光、五千億の太陽の心の光、
5,000 億の太陽の心の超高エネルギー、
超軽量粒子の元陽の丹薬が続々と絶えず、
反時計回りに、らせん状に、ボトムアップで、私たちの宇宙を満たし、
それは私たちの巨大な宮殿を構成している。
宮殿の中には 3 歳の子供が座っており、
この 3 歳の子供、目、鼻、口、見た目は私たちとまったく同じ、
私は前に言った、これは私たちの隠れ家だ。
これが私たちの体に属する本当のもの心神ということ。

誰もが間違っ言うでしょう、
私たちは今このスツールに座っていて、立って練習しているのは私たちの体。
これは間違っているでしょう。
私たちにはこの体を使う権利しかなんて、所有権はありません。
まるで中国の家のように、
70 年後、それは国と政府に返還されなければなりません、
使用する権利のみ。
あなたの体、あなたの直感、あなたの手、手をたたき、頭を振って、
あなたはこれを使用する権利を持つことができるが、しかし、時間制限がある。

気功や不死の修練をしていない場合は、

あるいは科学的な使用法も追求しないなら、
数十年後、
あなたはまだ頭を振ることができるか？
あなたの足を持ち上げることもできるか？
いいえ、その時点で使用権が失効しているため。

だから私たちの心神は、
あの3歳の子供ということだ。
この心神は、
私たちの外部の宗教の神ではありません、
それは私たちの体の外のものではありません、
どのような高次元な生き物、例えばこの王様、その皇帝、
いろいろな宗教の神、玉皇大帝・・・それらのどれでもなく、
八仙とも違い、古代の仏様でもない。
心神は私たちの永遠のそして永遠の起源と根本である。
気にするだけ、私たちは所有権を持っているが、
この所有権は不安定でもある。
それは私たちの三魂七魄の中の胎光に執着することから来ているから。
私たちはそれを「所有権」として独立させるよう努めるべき。
これは私たちが心神を修練することになる理由である。

心神は私たちの生来の活力の中核である。
道教の12文字のことわざ：
“有中生無、無中生有、借假修真”。
最初八文字（有中生無、無中生有）が、その後さらに四文字（借假修真）が
追加された。
“有中生無”が何を意味するか？
実際に何も無い、空。
私たちの体は今立っているか座っていて、
私たちの体は今そこにあるけど、
しかし、その本質は何もないことを私たちは知っている、
使用する権利のみがあり、所有権はありません。
だから、何も無い、

“有中生無”について、よく理解してくださいね。

次に、“無中生有”。即ち何もないところから何かを作成する必要があること。
もともと私たちの心神（生来の活力）は色々な外側のもので包み隠している。
私たちは食べて、飲んで、楽しみ、喜び、怒り、悲しみと喜び、
7つの感情と7つの意志を持っている。
あらゆる種類の感情、あらゆる種類の考え、
あらゆる種類の忙しい毎日、毎日忙しい、
それから家族、子供、友達、会社、仕事に行く、仕事に行く・・・
数え切れないほどの心配事、
そういう色々な「形」とあらゆる意識に
私たちの生来の心神を隠すことになるでしょう。
私たちの心神は元神（魂）の一部であり、色々な形で覆い隠されているだけ。

次に、この練習を行きましょう。
最初のステップは5000億の太陽の赤い光である。
私たちの心を無限に大きくして、
広く、広く、柔らかく、柔らかく、膨張して拡張して、
拡張がコアポイントであり、
1つは2つ、2つは4つ、4つは8つ、8つは16つ、
16から32、32から64・・・
この平面の成長は拡張と呼ばれる。

次に、2番目のステップ。
私たちの心神の宮殿は、大きく、広く、そして十分に高くなければなりません。

3番目のステップ、私たちの心神は、あの3歳の子供で、
私たちの3歳の子供の目、鼻、口、耳、ルックス、
きらびやかな金と赤の光であり、私たちはそれと融和するのです。
即ち、これは私たちの「古い巢」に戻ることであり、
それも私たちの「如来」に戻ることであり、
私たちの黄金の光の起源に戻ることでしょう。
私たちはすべての宗教から脱却し、すべての哲学から脱却し、
このエネルギー、そのエネルギーなどのすべての概念的な説明から離れてくだ

さい。

とてもシンプルで、私たちは家に帰り、

最も安全で、最も広大で、最も豪華な家に戻る。

もともとは最高の宮殿でしたが、心神の古い巣—隠れ家。

そして、人心、天心がはっきりと現れている。

これは 3 番目のステップ：心神が現れている。

次に 4 番目のステップ。

5,000 億の太陽の赤い光、

即ち太陽の心神のエネルギーが延々と続けている。

太陽の心のエネルギーについて、中医学にはことわざがあり：

“何を食べ、何を補う”。

それから私達は 5000 億の太陽の心神のエネルギーを食べて、

私たちの心のエネルギーを補充することによって、

天心と人心は一つになり、

吸って、吸って、どんどん吸収してから、

段々とまったく吸う必要がないように感じるようになる。

それは私たちが 5000 億の太陽の心神に住んでいるよう。

私たちの心の中の心神は小さな川のようになり、

それから私たちはこの小川を太平洋に移し、

または、インド洋と大西洋の真ん中に移し、

そうすれば、「水」を求める必要はありません。

それは当たり前だ。すでにそこにあった。

これはどのように感じますか？

釈迦牟尼が菩提樹に金星（北斗七星）を見たように、

一気に気づいた、

私たちもこのように感じているのではないかと思う。

つまり、すべての存在はもともと仏性を持っていて、

自給自足で、外に尋ねる必要はありません。

肺に病気があり、風邪をひきやすい人、

コロナウイルスの流行を恐れている人々、

心臓病の人、そして、左肩を痛めることが多い人は、

私はみんなを怖がらせていません、

肩の痛みを残した人、彼はおそらく心臓病を患っている。

これは非常に科学的な真実であるけど、

彼らがそれを知らないだけ。

これらを恐れる必要はありません、

この心神功を練習した後、よくなるでしょう。

古代人は言った：

毎日心神の名前を唱えている限り、永遠に生きることができる。

これは、みんなに練習を促すために与えられるキャンディーだ。

生、老年、病気と死のための薬、

心神の名前を呼ぶだけではできません。

練習も同じこと、あなたの名前を呼ぶだけは何の作用があるか？

真面目な修練することが大事でしょう。

続けて、5000億の太陽の赤い光を継続的に吸収する。

5000億の太陽の赤い光、

私たちは心をリラックスさせ、これはとても重要なこと。

その後、5000億の太陽を吸収するようになり、

そしてこの5000億の赤い太陽を維持するために、

太陽の心神、心神のエネルギーが私たちの心の心神に入り込む。

私たちのすべての意識：表面意識、深い意識、

インスピレーション、直感、第六感・・・すべての感情、

私たちの心の中心に世界を1つに、すべてを1つになり、

心の中の世界、それでも赤い光の海、赤い光の太平洋、赤い光の宇宙。

皆さん、今日私たちが心神功をコトバンクすることを忘れないでください。

私はここに何十人も人の心神を大きな心神になるようにする。

私がガイド兼ツアーガイドになり、皆さんを導引するから。

まず、私は5000億の太陽の赤い光源をみんなの心に継続的に導入していき、

みんなできるだけリラックスしてください。

私たちの心神はどのようにリラックスしますか？

下から上にリラックスし、後ろから前にリラックスし、

覚えてください、

下から上へ、後ろから前へ、内側から外側へ、3か所。

この方法、ちょうど先道教の 12 文字のことわざに対応している：
実際に何も無い（有中生無）、
何も無いところから何か生まれ（無中生有）、
偽りを通して修練すること（借假修真）、私たちは常に真と偽を切り替えている。
これが道家修練法の神秘的な所だ。

私たちはリラックスし続けながら、引き続き講義を行う。
太陽と私たちの人々の関係は何ですか？
人々が地球から始めるなら、
地上では、人間の細胞は小さな地球のようなもの。
しかし、人体の構造も地球とは多少異なり、
約 30 から 40 パーセントの違いがある。

後でわかる事：私たち人々、地球の子供たちだけでなく、
私たちは太陽の子供でなければなりません。
どうして？

私たちの体を構造している基本的な物質により
基本的な化学と物理的反応が地球と 60% しか似ていませんが
太陽とどれくらい似ていますか？ 99.99%、金に相当するものは純金ではない。
私たちの人間の骨、体細胞の内部の基本的な物質は太陽にとっても近いです。
DNA 検査の場合、私たち人間が地球の子供であるとは言い難いが、
しかし、DNA 検査の観点から、私たちは太陽の子供であると言えるでしょう。
これらを放っておいて、
私たちは、三魂七魄の中の爽霊、
つまりインスピレーション、直感、第 6 の感覚的に集中してください。
古代の道教徒と偉大な賢者と聖人、
彼らは自分の爽霊をよくわかり、よく利用していた。
彼たちは人間が太陽の子供であることをよく知っていた。
したがって、皇帝は天子と呼ばれ、
中国人だけでなく、多くの民族グループがどの国でも、
古代の王は「太陽の息子」と呼ばれていた。

良いこと、私たちの心はどんどん広がっていき、

ますます明るい赤、ますます熱く、ますます柔らかく、
柔らかくなければ、天心と人心を統合することはできません。
宇宙の心神は「宙心」と呼ばれる心神もある。
時間の心神だ。
今日は時間の心神を練習しません。
体に3つの心神を一つにすると永遠に生きることができる。
これは古代仙道の言い方。

先に言いました、
最初のステップでは、心臓全体が赤い光の海になり、
2番目のステップ、
赤い光の海には巨大な宮殿と階段があり、
3番目のステップ、
宮殿の内部-高さ数十メートルの屋根、
家は大きくて背が高くて、
真ん中に子供が座っていて、スイカの中にゴマを置いているように、
子供は普通の三才の子供と同じくらいの大きさで、
赤い光と金色の光で構成された3歳の子、
これが私たちの心神、
私たちは心神と一体になる。

第四部、
心神の中の心をリラックスさせる。

パート5を今から学ぶ。
私たちは心神の心をリラックスさせ、
そして、心神の中の心の世界、
前後、左右、無限に広くして、
再び赤い光の宇宙になり、
赤い光の宇宙では、
宮殿のある最初の心神の上に、
第二世代の心神が現れていて、
まるでAppleの携帯電話が第12世代になったかのよう、

私たちはいま第二世代の心神である。

第二世代の心神は第一世代の心神の宇宙の真ん中に位置し、
すべてが無限に広い。

私たちの練習はいつもとは異なり、誰もが注意を払う必要がある。

通常、部屋には部屋があるが、

もちろん、内側の部屋は外側の部屋よりも小さい。

しかし、私たちは今ここで練習している時、

よりファッショナブルな言い方をすれば、4次元と5次元がここに来ていて、
私たちは4次元と5次元の世界では反対側になる事だ。

反対はどういう意味ですか？

言い換えれば、第二世代の心神が住む宇宙

第一世代の心神を抱く宇宙の2倍の大きさである。

古代の修練者達には2倍の大きさと言い方がありませんでしたが、

「2倍のサイズ」という言葉は私が一時的に使用するもので、
良い参照説明が便利の為。

心神の部屋は2倍にする必要があり、

心神は変わらない、心神の心の世界がもっと大きいというだけ、

心神はまだそのサイズが良い。

私たちは第二世代の心神に変身し、溶け込んでいく。

第二世代の心神として、外側の世界を観察する：

まず私たちが大きな心の中にいることを知って、

そして、自分の心神の中に輝く赤い子供がいることも知っていて、

それは私たちの第一世代の心神である。

それからあなたの心神の内側から外を見てください、

私たちはとても大きな心臓にいる。

その大きさは一年も走り終えることができない大きな宮殿のようなもので、
宮殿の外観が宇宙船に似ている、

この宇宙船が10万光年の速度でも到達できない宇宙の中において、
それらは私たちの体の中心にある。

そのように理解されて良いでしょう。

それから天の川の5000億の太陽の赤い光

継続的に、継続的に下から上へ、
私たちの第二世代の心神の心は反時計回りにらせん状に満たされている。
そして、私たちはこの第二世代の心神の心を守り、
この心をリラックスさせ、
それから私の講義に耳を傾け続けてください。

心神には名前があり、丹田と呼び。
丹田の「丹」であり、元旦の「元」である。
丹は、非分散型のエネルギー体であり、
超高品位、密度、純度が最高である。
密度はどれくらいかな？
中性子物理学の説明から、十分な密度がある場合は、
私たちの指の1つ、
中性子でできた指なら地球より重いです。
だから誰もがコンセプトを持っている。
私たちの丹田の丹が、密度とエネルギーは、
地球より重い指の密度とエネルギーよりも高くなっているでしょう！

元、と言うもの、それは活力の無限の源の基盤と根源である。
したがって、新年は元旦と呼ばれているが、
実際には元旦は、元旦の1月1日という意味ではありません。
古代中国の元旦は春節である。
正月という言葉は西暦が「盗んだ」というだけ。
言い換えれば、それは西暦にぎこちなく使用されていて、
また100年未満である。
実際には今の“春節”が元旦であり、
元旦は時間と空間が限らない過去から来ているものである。

私たちの心神の名前は「丹田」なので、
なぜ「丹田心」を修練する必要があるのか、誰もが理解できるでしょう。
丹田の本体は動かない、
それは私たちの体と心神をつなぐことである。
私たちの体は欠陥があり、

ですから、人間の心神にも欠陥がある。
だから天心と接続することが必要だ。
人心と天心だけが満足していません。
ですから、宇宙の心、即ち時間の心をつなぐ必要がある。
一つの体に三つの心、三つの心に一つ、
それで用途は無量大で、
永遠に生きることができるでしょう。

実際、私はみんなの心神功の練習を導引する場合、
常に初級レベルのみがあり、
そして、かなり長い間練習することになる。
誰もが千時間以上練習してきた、
自然の神々の中には、すべての人に教えるための不滅のものがある。
神々は外にいない、
あなたの心の中にいる。
この心神は、あなたに次の練習する方法を教えてください。

歴史的記録によると、
あなたが千時間練習しなければ、
あなたに教えるために神が出てくることはありません。
練習しただけでは足りないかもしれませんが、
しかし、あなたが練習しなければ、あなたはそれを決して持つことはない。
言い換えると、
私たちは一生懸命働き、成功しないかもしれませんが、
あなたが一生懸命働かなければ、あなたは間違いなく失敗するでしょう。

心神の名前は丹元で、
丹、無限に広範囲、保存された、
すべての所有権がその中にある。
元、無限で破壊不可能、
それから根は深く、つまり無限であり、
人間の言葉の説明では言い表せない。

心神にはもう一つ名前—別名がある。

古代にはこの別名が“字”といい、その人の野心と責任を表している。
例えば、劉備は字、玄德と呼ばれ、
玄は無限で広範囲に及んでいて、
美德は慈悲と正義であり、
美德によって国を確立し、慈悲と正義をもって物事を行うこと。
諸葛亮は字、孔明と呼ばれ、
一つの穴で宇宙のおおよその真実の本質を識別することができる、
これは諸葛亮のキャラクターであり、
次に、戦略を立てて、勝利を獲得することを決定する。
したがって、古代人の別名は彼の義務と野心を表している。

私たちの心神の字、別名は何でしょう？
守霊と呼ばれる、
“守”は守り、
“霊”は胡適氏が先に述べた魂の霊である。
私たちは魂と「霊」について話していたが、
あなたはどんな霊を守るか？
五臓六腑の霊、即ち内臓の霊を守るべき。
これは私たちの心神の責任である。
今日は練習できませんが、
まず、最初に第一世代と第二世代の心神を修練して、
それから、家に帰って、時間を作って第三世代の心神を練習してください。

120歳まで生き続けるために、
49世代までの心神を訓練しなければなりません、
長寿なしで、たった120歳、
最初の段階のために、練習を続け、やり続け、壊し続けているでしょう。

心神の名前は丹元で、字と言う別名は守霊である。
この守霊は、内臓の生来の活力を守り、
守霊がないと生来の活力はあちこちにばらばらになるでしょう。
五つの内臓にも神々がいて、
例えばお腹が空いたときに食べることは、5つの内臓神によって制御されている。

しかし、神は見当違いになることがあり、
神は家に留まらず、貪欲になり、病気になり、・・・
ですから、心神は霊を守っているが、神を守っていません、
5つの内臓神については、
誰もが覚えてほしい、
つまり、守霊という別名であることだ。
この霊は何の意味もするか？
それは、それぞれの内臓の三魂と七魄の爽霊である。
三魂は五臓六腑の生来の活力が周りに散らばらないように守るものである。
だから“人そこにおいて、心は死んでいない”という言葉があり、
私たちはそれを振り返ることができる：心はまだそこにあり、人は死にません。

みんなゆっくりと目を開けて、手をこすり、顔をこすり、
皆によく伝えて、あなたの心に如来を置きましょう、
あなた自身の心の中で平和に暮らし、働く。
練習を続けてくださった皆様、おめでとうございます。
最初のステップは120歳に到達することでしょう！
120歳のときにみんながここに来てくれますように
集まることもできるように！
心神がまだそこにあるから。
人々、不滅！

2021年5月10日東京